

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミロク情報サービス

コード番号 9928 URL <http://www.mjs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 滝本 訓夫

TEL 03-5361-6369

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,342	△4.1	379	△11.8	364	△12.2	140	237.5
21年3月期第2四半期	9,740	—	430	—	415	—	41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.43	4.28
21年3月期第2四半期	1.29	1.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	14,117	7,327	51.9	233.50
21年3月期	14,794	7,682	51.9	240.80

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 7,327百万円 21年3月期 7,682百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	0.1	977	17.2	900	14.2	375	—	11.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	34,700,286株	21年3月期	34,684,286株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	3,321,427株	21年3月期	2,781,149株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	31,668,053株	21年3月期第2四半期	32,266,084株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月12日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。
2. 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、昨年後半からの急速な景気後退の影響を受け、企業収益の悪化に伴う設備投資の大幅な減少、さらに雇用情勢が一段と厳しさを増すなど、総じて大変厳しい経済情勢となりました。

当社グループが属するソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、先行き不透明な経済情勢の中で、より費用対効果を重視した投資傾向が顕著になっており厳しい経営環境となっています。

このような厳しい経営環境において、当社は顧客のニーズやマーケット環境の変化により柔軟に対応するために、4月よりマーケット別の製販一体型の販売・開発体制を敷きました。これにより営業と開発部門のコミュニケーションがより円滑になり、スピーディな経営判断、業務遂行に繋がっています。さらに当社の主力製品である『MJSLINK II シリーズ』やセキュリティ製品等の販売力を一層高め、また営業現場の活性化を図るために、全国各地で営業要員の提案力強化のための教育・研修を行いました。併せてソリューションビジネスを強化するためのPM（プロジェクト・マネジメント）研修を継続して行っています。

一方、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証範囲を全社に拡大して取得し、情報セキュリティを中心としたリスクマネジメント及びコーポレート・ガバナンスの更なる強化を図っています。

このように、日本経済が縮小傾向にある中で、業績の維持・拡大のために先を見据えた経営改善を行うべく、当社は組織改革や人事制度改革、従業員のスキルアップによる販売・開発体制の強化、さらにコーポレート・ガバナンスの強化を図り、経営基盤の一層の強化に努めてまいりました。

販売面においては、新規顧客開拓の施策を積極的に行ってまいりましたが、当初より想定していた通りに厳しい経済状況の影響を受けて、会計事務所及び企業向けともにソフトウェアの販売が大きく減少しました。一方、ソフトウェアの保守サービスを中心とするサービス安定収入が大きく伸張しており、安定的な収益構造への転換は着実に進展しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高93億42百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益3億79百万円（同11.8%減）、経常利益3億64百万円（同12.2%減）、四半期純利益1億40百万円（同237.5%増）となりました。

品目別の業績は次の通りであります。

（システム導入契約売上高）

ハードウェア売上高は、前年同期比12.1%減少し11億2百万円となりました。ソフトウェア売上高は、景気悪化の影響を受けて主力製品の販売が減少したため前年同期比10.0%減の39億16百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比2.6%減少し11億51百万円となりました。

その結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比9.1%減少し61億69百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等の役務提供）の売上高から構成されています。

（サービス安定収入）

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、サービス品質の向上に伴う料金改定などにより前年同期比38.2%増加し8億75百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格な会計ソフト使用料が中心であり、着実に新規利用件数が伸張し前年同期比21.8%増の1億50百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、前年同期比6.4%増の11億48百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は、前年同期比4.3%減の5億67百万円、サプライ・オフィス用品等の売上高は、積極的な販促活動を行ったことにより前年同期比7.2%増の3億19百万円となりました。

その結果、サービス安定収入の合計は、前年同期比12.1%増加し30億65百万円となりました。

※「サービス安定収入」は、主に継続的なサービス提供に基づく安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）連結財政状態

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億76百万円減少して141億17百万円となりました。主な要因は、流動資産では、現金及び預金が3億46百万円減少、受取手形及び売掛金が1億28百万円減少、棚卸資産が29百万円減少、固定資産では、無形固定資産が73百万円減少、投資その他の資産が47百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少して67億90百万円となりました。主な要因は、長・短借入

金が6億3百万円減少、社債が2億4000万円増加、未払法人税等が8700万円増加、その他流動負債が2200万円減少したことによるものであります。

純資産は、3億5500万円減少して73億2700万円となりました。また、自己資本比率は51.9%となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ3億6600万円減少し、21億8900万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億7900万円の増加（前年同期は4億2800万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億4000万円、減価償却費1億9100万円、たな卸資産の減少額1億5900万円、売上債権の減少1億8000万円等の増加要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億3200万円の減少（前年同期は6億7300万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出2億5100万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億1300万円の減少（前年同期は7億7200万円の減少）となりました。これは主に、社債の発行による収入が2億9300万円あった一方で、借入れの返済による支出が純額で6億3000万円、社債の償還による支出6000万円、自己株式の取得による支出1億1100万円、配当金の支払3億8100万円及び利息の支払4200万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期業績予想につきましては、平成21年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る売上高の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受託開発契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる開発については進行基準（開発の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の開発については完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,217,724	2,564,285
受取手形及び売掛金	2,952,761	3,080,844
商品	190,807	226,409
仕掛品	93,200	80,056
貯蔵品	32,014	39,171
その他	716,918	720,850
貸倒引当金	△51,624	△37,817
流動資産合計	6,151,802	6,673,801
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,729,912
その他(純額)	1,432,385	1,465,798
有形固定資産合計	4,162,298	4,195,711
無形固定資産		
のれん	44,789	56,436
ソフトウェア	1,443,587	596,183
その他	184,000	1,093,515
無形固定資産合計	1,672,378	1,746,135
投資その他の資産		
その他	2,180,889	2,228,251
貸倒引当金	△49,997	△49,612
投資その他の資産合計	2,130,891	2,178,638
固定資産合計	7,965,568	8,120,485
資産合計	14,117,371	14,794,287
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,904	749,170
短期借入金	1,100,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	537,980	537,100
1年内償還予定の社債	180,000	120,000
未払法人税等	217,985	130,185
賞与引当金	291,544	302,235
その他の引当金	6,377	10,927
その他	1,771,047	1,793,701
流動負債合計	4,852,838	5,343,320
固定負債		
社債	660,000	480,000
長期借入金	1,125,575	1,130,165
引当金	68,710	69,518
その他	83,145	89,106
固定負債合計	1,937,431	1,768,789
負債合計	6,790,269	7,112,109

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,274	3,198,258
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	2,211,315	2,453,913
自己株式	△982,738	△870,912
株主資本合計	7,440,241	7,794,648
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△80,332	△81,068
繰延ヘッジ損益	△32,807	△31,402
評価・換算差額等合計	△113,139	△112,471
純資産合計	7,327,101	7,682,177
負債純資産合計	14,117,371	14,794,287

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	9,740,138	9,342,454
売上原価	3,948,953	3,737,942
売上総利益	5,791,184	5,604,511
返品調整引当金戻入額	19,000	10,927
返品調整引当金繰入額	22,843	6,377
差引売上総利益	5,787,340	5,609,062
販売費及び一般管理費	5,356,924	5,229,600
営業利益	430,416	379,461
営業外収益		
受取利息	6,867	3,153
受取配当金	4,644	5,038
保険配当金	5,736	3,466
助成金収入	—	15,186
その他	11,305	11,770
営業外収益合計	28,554	38,615
営業外費用		
支払利息	41,852	42,826
社債発行費	—	6,774
その他	1,752	3,648
営業外費用合計	43,605	53,249
経常利益	415,365	364,827
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,573
保険解約返戻金	4,527	—
貸倒引当金戻入額	9,475	4,616
その他	991	—
特別利益合計	14,995	12,190
特別損失		
固定資産除却損	7,223	1,074
減損損失	4,877	888
投資有価証券売却損	—	11,750
投資有価証券評価損	197,181	23,029
特別損失合計	209,282	36,744
税金等調整前四半期純利益	221,078	340,273
法人税等	179,525	200,033
四半期純利益	41,552	140,240

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,078	340,273
減価償却費	224,684	191,579
減損損失	4,877	888
のれん償却額	20,241	11,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26,661	28,089
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,925	△10,690
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△19,720	△5,357
受取利息及び受取配当金	△11,512	△8,191
支払利息	41,852	42,826
投資有価証券評価損益 (△は益)	197,181	23,029
固定資産除売却損益 (△は益)	6,439	1,074
売上債権の増減額 (△は増加)	16,160	108,188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,080	159,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	△113,070	△1,266
その他	122,979	△8,226
小計	687,685	873,435
法人税等の支払額	△259,230	△93,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,454	779,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△98,680	△63,418
有形固定資産の売却による収入	1,435	—
無形固定資産の取得による支出	△271,202	△188,233
投資有価証券の取得による支出	△342,200	△2,027
投資有価証券の売却による収入	81	32,861
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
利息及び配当金の受取額	10,800	8,191
その他	25,822	414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673,944	△232,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,250,000	1,800,000
短期借入金の返済による支出	△2,450,000	△2,400,000
長期借入れによる収入	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△490,170	△303,710
社債の発行による収入	—	293,225
社債の償還による支出	—	△60,000
株式の発行による収入	82	16
自己株式の取得による支出	△536	△111,825
配当金の支払額	△384,863	△381,455
利息の支払額	△42,188	△42,518
その他	△5,123	△7,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772,800	△913,982
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,018,290	△366,561
現金及び現金同等物の期首残高	3,307,334	2,555,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,289,043	2,189,411

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

従来、「ソフトウェア関連事業」及び「経営支援サービス事業」に区分して表示しておりましたが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ソフトウェア関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、当第1四半期連結累計期間より事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ソフトウェア関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業 (千円)	5,992,703	95.9

- (注) 1 上記の金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。
 3 経営支援サービス事業につきましては、生産に該当する事項がありませんので記載しておりません。

(2) 受注実績

当社グループは、一部受託開発を行っておりますが、金額が軽微のため、記載を省略しております。

(3) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業		
ハードウェア (千円)	1,066,400	89.5
サプライ (千円)	179,368	108.0
その他商品 (千円)	62	0.1
合計 (千円)	1,245,832	88.8

- (注) 1 上記の金額は仕入価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。
 3 経営支援サービス事業につきましては、仕入に該当する事項がありませんので記載しておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を品目ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア関連事業		
ハードウェア (千円)	1,102,017	87.9
ソフトウェア (千円)	5,992,703	95.9
サプライ (千円)	319,572	107.2
保守 (千円)	1,715,914	102.6
その他商品 (千円)	176,590	81.9
計 (千円)	9,306,799	96.0
経営支援サービス事業 (千円)	35,655	73.2
合計 (千円)	9,342,454	95.9

- (注) 1 上記の金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値であります。